



2024



本年もよろしく  
お願い申し上げます

## 新年のご挨拶

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

インバウンドにつきまちは、2025年の「大阪・関西万博」の開催に向けて、せとうちにおいては本年が瀬戸内海国立公園90周年を迎えることなども含めて、広域周遊観光を呼びかける好機であると考えております。

また、当機構は2023年からの3年間の観光戦略をとりまとめた中期計画として、「せとうち観光成長戦略2023-2025」を策定しました。3回目の中期計画にあたる本観光戦略は、せとうちエリアの観光モデルルートとして策定した「せとうち地域周遊23ルート」や、観光庁より選定いただいた「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業」などを計画の柱に、せとうちエリアのインバウンドへの取り組みのコアとして確立すべきだと認識しております。

当DMOはファンド機能も備えたDMOとして注目をいただいておりますが、その幅広い活動内容の実施によって蓄積されたアイデアや知見等を集約・活用して、アフターコロナにおける新たなインバウンドへの展開・取り組みを進めてまいります。

結びとなりますが、皆さま本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



一般社団法人せとうち観光推進機構 会長 真鍋 精志



一般社団法人せとうち観光推進機構  
専務理事/事業本部長 坂元 浩

能登半島地震でお亡くなりになった方のご冥福をお祈りするとともに被災地の早期復興を願っております。

「せとうち観光戦略2023-2025」における数値目標については国の目標である2030年訪日外国人旅行消費額15兆円達成に向け、数より質に方向転換し、瀬戸内7県における対象5か国の旅行消費額を毎月モニタリングすることによりKGIの達成状況を可視化しました。7県対象5か国の消費額は2021年には4億円まで減少しましたが、円安や物価高の影響もありますが2023年9月累計ですでに95億円となっておりKGIを達成しました。中期計画の基本方針は旅行消費額の増加に加え、観光客の満足度向上、住民の満足度向上とし、3つの基本方針を達成・推進するために「誘客戦略」と「地域の魅力づくり戦略」の両輪で事業を推進しています。魅力があれば満足度が高まるだけではなく周囲にせとうちへの魅力が伝わるため、プロモーションと魅力づくりの両輪での事業推進が不可欠です。

せとうちエリアがモデル観光地に選定された「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業」について、47市町等と連携してブランディング（魅力の深堀り）とマスタープランの作成をすすめています。今後5年間にわたる事業推進が必要であることからDMOとしての推進体制をSBCと検討しマスタープランの実現を目指したいと思います。

本年もよろしくお願い申し上げます。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年4月、新型コロナウイルス感染症の水際措置も撤廃され、インバウンド観光も復活し、国内外の観光客がコロナ前の水準に回復しつつあります。

そうした中で、弊社と致しましては、子会社を通した宿泊施設の自主事業として「Ryokan尾道西山」「せとうちアイランドステイズ周防大島」の開業や、「せとうち観光サステナブルファンド」を通した投融资を、香川県小豆島町のホテル施設、岡山県倉敷市のオーベルジュ施設に実施し、また、弊社の事業や投資ノウハウを活用したコンサルティング支援を自治体や事業者へ提供し、観光地域づくりを推進して参りました。

本年も「せとうち」が世界の観光地との激しい競争に勝ち残るために、せとうち観光推進機構と連携を密にし、せとうち地域の観光事業者や自治体のコンサルティング支援、戦略テーマに沿ったファンド投資の実行、ランドマークとなるような観光プロダクトの造成等に取り組み、せとうちエリアの持続可能な観光地域づくりに邁進して参りたいと思いますので、本年も引き続き倍旧のご厚情を賜りたく、お願い申し上げます。



株式会社瀬戸内ブランドコーポレーション  
代表取締役社長 田部井 智行

# 第6回理事会・臨時社員総会を実施しました。

1月22日(月)に香川県高松市の「JRホテルクレメント高松」にて、第6回理事会及び臨時社員総会を開催しました。

せとうち7県の理事や各社員企業の代表者の皆さまにご参集いただき、当機構の実施方針等を決議・報告する重要な場として開催される本会議ですが、この度は来年度の事業計画や今年度実施している「『せとうちエリア』における高付加価値なインバウンド観光地づくり推進事業」のマスタープラン(原案)の共有・説明、当DMOの会員向けサービス「せとうちDMOメンバーズ」の現況などを議題として決議・報告を行いました。

午後から開催された臨時社員総会には、香川県池田豊人知事が現地にて、広島県湯崎英彦知事がオンラインにてそれぞれご出席いただきました。



(上) 答弁する真鍋会長



(上) 説明する坂元事業本部長

## 第6回理事会

11:00~12:30

### Program

- ・2024年度事業計画及び収支予算について
- ・2023年度職務執行状況報告について
- ・「せとうちエリア」における高付加価値なインバウンド観光地づくり推進事業マスタープラン原案について
- ・株式会社せとうちDMOメンバーズの現況について



## 臨時社員総会

14:00~16:00

香川県 池田 知事



瀬戸内海国立公園90周年に向けたやクルーズ振興への取り組みやインバウンド観光客の受入環境整備としてピーガン対応等を期待されました。

広島県 湯崎 知事



「せとうちエリア」における高付加価値なインバウンド観光地づくり推進事業について自治体との連携を評価いただいたとともに、DMOとしての活動拡大・機能拡充等についてご提言いただきました。

理事会・社員総会開催の様子



## せとうちDMO×月刊HOTERES コラボセミナー

せとうちDMOでは、月刊HOTERES（旧：週刊ホテルレストラン／(株)オータパブリケーションズ発刊）と合同で業界の本音トークを公開する“オフトーク”オンラインイベント

【ココでしか聞けない宿泊業界のウラ話】を2024年1月17日（水）14:00～15:30に実施し、多くの方（申込：252社311名 当日参加者：147社197名）にご参加いただきました！

せとうちDMO × 月刊HOTERES

## ココでしか聞けない宿泊業界のウラ話 vol.1 ホテル・観光業にとって、OTAは天使か？悪魔か？

2024.01.17



### 【ココでしか聞けない宿泊業界のウラ話】

第1部：業界のトッププロによるスペシャル対談

『ホテル・観光業にとって、OTAは天使か？悪魔か？』

C&RM(株) 代表取締役社長 小林武嗣 氏/(株)宿願成就 代表取締役 石井太樹 氏

モデレータ：月刊HOTERES 編集部 加藤壮一 氏第2部：業界向けソリューション耳より情報

(1) 『公式 Web サイトへの集客アップ、自社ブランドを守るために』

ユニファイド・サービス(株) 特別プロジェクト担当部長 宇陀宏樹 氏

(2) 『WEBサイトを自動で翻訳！』

(株)イー・エージェンシー クラウド事業本部 カスタマーコミュニケーション部 CS課 サービス

アドバイザー 杉田希美氏

せとうちDMO×月間HOTERESは、アフターコロナの時代、旅行事業の復活によりなにかと注目される宿泊業界の『???』を忖度なしに本音でトークするオンラインイベントです。

宿泊業界向けのオンラインイベントですが、内容に興味ある方はどなたでも参加いただけます。今後も定期開催を予定しておりますので、皆さまの視聴参加をお待ちしております。

## ◆2023年12月の新規瀬戸内ブランド登録商品について

一般社団法人せとうち観光推進機構では12月に瀬戸内ブランド登録商品として新たに11社の23商品を登録しました。

これにより、瀬戸内ブランド登録商品として累計で食品等365事業者の1,176商品が登録されたことになります。(販売終了商品を含む)。

なお、瀬戸内ブランド登録制度では、瀬戸内エリア特有の「自然(島や内海)」、「食」、「歴史」といった資産をもとに、創意工夫によって開発され、瀬戸内ブランドのアイデンティティを体現するような商品(サービス商品は受付終了)を登録基準に基づき瀬戸内ブランドの商品として登録しております。これにより「瀬戸内」のブランド価値を向上させ、広く国内外に認知が広まることを目指しています。

※せとうちDMOのHP内掲載:<https://setouchitourism.or.jp/ja/service/product/>



## 2023年度 瀬戸内ブランド登録商品 【新規】12月登録商品※発売前商品を除く

### 1 よしの味噌株式会社

ハイボールがさらに美味しくなる発酵レモン  
ハイボールがさらに美味しくなる発酵レモン



### 2 株式会社樋口製菓

芳醇マスカット



### 3 寺岡有機醸造株式会社

寺岡家のレモンぼんず  
寺岡家の藻塩レモンぼんず



### 4 ヤマトフーズ株式会社

レモスコREDサウザンドレッシング  
広島のかき水煮(化粧箱入)



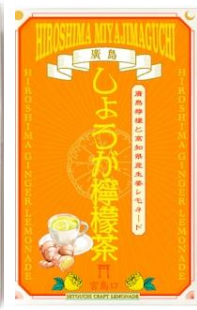
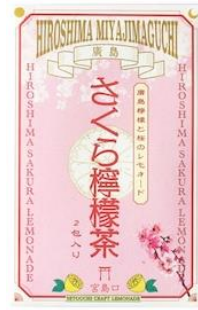
### 5 川田柑橘園

しらぬいマーマレード  
みかんジャム  
レモンマーマレード  
紅八朔マーマレード  
清見マーマレード



### 6 瀬戸内クラフトレモネード

広島檸檬茶  
広島檸檬緑茶  
もみじ檸檬茶  
さくら檸檬茶  
しょうが檸檬茶





# STU48と行く徳島体験ツアーのご案内

徳島県よりお知らせです♪

2月3日にSTU48のメンバーと行く「ときめきバレンタイン徳島体験ツアー」を開催します!阿波踊りや鳴門の渦潮など、徳島ならではの体験をSTU48のお二人にご案内頂けます。

参加をご希望の方は、下記案内のQRコードよりお申し込みをお願いいたします。



徳島/日帰りバスツアー 添乗員同行



とくしまLOVEサポーター  
**STU48** と行く

ときめき  
**バレンタイン**  
徳島体験ツアー



徳島の  
魅力発見!

STU48の谷口茉妃菜さん(徳島県出身)  
福田朱里さん(香川県出身)  
が徳島をご案内!!



谷口 茉妃菜さん



福田 朱里さん

徳島と言えば、  
阿波おどりと鳴門の渦潮!!

参加者にチョコっと  
プレゼント付き!

スペシャルな体験!

一緒に 阿波おどりを踊る

一緒に 集合写真が撮れる

一緒に じゃんけん大会

素敵な景品があたるかも!?



阿波おどり(イメージ)



鳴門海峡(イメージ)



阿波おどり会館  
(外観イメージ)

400年の歴史を  
持つ徳島の盆踊り



渦の道(イメージ)

渦上45mの遊歩道  
ガラス床からのそき込む  
渦潮は、吸い込まれそうで  
スリル満点!

昼食 バーベキューをご用意!!



AQUA TERRACE(イメージ)



(イメージ)

2024年

2月3日±

●旅行代金 (お一人様) **22,000円**

スケジュール ツアーコード: KHH763

1 徳島駅前(9:40) = 阿波おどり会館を貸し切って阿波おどり体験(10:00~)  
あるてよ徳島にてお買物 = 新鮮なとく市/AQUA TERRACEでバーベキューの昼食  
= 大鳴門橋遊歩道 渦の道 = 徳島駅前(16:45)

●食事:昼食1回 ●添乗員同行・バスガイドなし ●最少催行人員:40名(80名まで)  
●利用予定バス会社:徳島バスまたはその他契約バス会社【詳細は弊社ホームページをご覧ください】

【ご注意事項】

※当日のスケジュールは変更になる場合がございます。※15歳未満もしくは中学生以下の方のご参加には保護者の同行を条件とさせていただきます。※未成年者のご参加の場合、親権者の同意書が必要です。※メンバーは、別車両での移動となり、お客様のバスに同乗いたしません。また、昼食時も別会場になります。※メンバーの急な体調不良や、やむを得ない理由によりツアーを中止させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。※ツアー参加時は、STU48メンバーの参加コンテンツに限り、ビデオ・ビデオカメラ・携帯電話などでの録音、録画、撮影は禁止とさせていただきます。また撮影用補助機材の使用も禁止します。このような行為をされた場合、データをその場で消去させていただきます。※当日は、その他、主催者が定めるルールに従っていただきますよう協力をお願いします。

■運送機関の遅延・欠航、交通渋滞その他の不可抗力の理由により、到着・帰着時間が予定通り進行できないことがあります。また、旅行日程の変更、もしくは目的地滞在時間の短縮または一部変更することがあります。■バス空席はお申し込みの順となっております。ご希望ご指定はあてられませんのでご了承ください。■嵐潮は自然現象のための気象状況等により、ご覧いただけない場合がございます。■旅行条件、旅行代金の基準日:2023年12月1日

お申し込みはこちら





## 瀬戸内アカデミー報告

### 瀬戸内アカデミー：第95回「よみがえる限界集落～コロナ禍で全館休業したホテル経営者が四国の山奥、限界集落でつけた新しい生き方～」

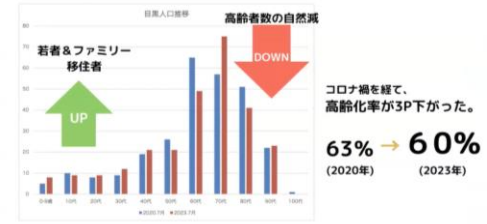
この度の瀬戸内アカデミーでは、講師ご本人である、瀬戸内を中心に8つのホテルを展開する経営者が、コロナを機に全てのホテルを休業し、それをきっかけに人口270人の超限界集落に一家で移住、自然豊かな環境での生活を開始され、世の中には「グレートリセット」や「新しい資本主義」という言葉が行き交う中で、膨張し続けるマネー資本主義から、自然を資本とした新しい未来社会を創造しているお話をさせていただきました。

- ・企業でESGやサステナブルに携わっている方
- ・自然の中でのWell-being生活に興味のある方
- ・新しい観光のカタチを探されている方
- ・日本の教育に限界を感じていらっしゃる方にとって、非常に有意義な時間になったのではないのでしょうか。



◆日時：2023年12月21日（木）14時～15時  
 ◆講師：Social-Regenerator（地域蘇生人）  
 株式会社サン・クレア代表 細羽 雅之氏

#### 下がる高齢化率



#### 旅～移住への4ステップ



### 瀬戸内アカデミー：第96回「彦根城の世界遺産登録と新しい江戸文化の発信」～世界遺産への取り組みと文化観光への展開～

滋賀県と彦根市では、「彦根城」の世界遺産登録に向けた取り組みを進めており、その活動は「観光まちづくり」の一つに位置付けられています。世界遺産を契機として、「どのような観光が生み出せるのか」「どのような町づくりにつなげるのか」それこそが必要であるという考えです。それはまた、世界遺産への機運を高めることにも他なりません。

また世界遺産となるためには「顕著な普遍的価値」(OUV)を有している必要があります。世界の人々が世界遺産に相応しいと納得する「価値」であります。しかし、日本国内をはじめとする世界遺産の多くで、その「価値」が正しく理解されているか、疑問に感じる場面も少なくありません。その「価値」には、世界遺産に登録する根拠だけでなく、その資産を保存し、活用するための多くのヒントが含まれています。そして、この考え方は世界遺産に限らず、これからの「文化観光」全体に応用出来るべきものであります。

この度の瀬戸内アカデミーでは、彦根城の世界遺産登録に向けた取り組みをご紹介いただきながら、その「価値」をどのように「観光まちづくり」に活かせば良いのか、これまで滋賀県下で取り組まれてきた「文化観光推進」の事例を交えて、ご講演をいただきました。



◆日時：2024年1月18日（木）14時～15時  
 ◆講師：滋賀県文化スポーツ部 文化財保護課  
 彦根城世界遺産登録推進室 副主幹 細川 修平氏



#### 彦根城の世界遺産

- 彦根城が望むもの —彦根・滋賀を超えて—
- ・180の城・城下町の個性・価値・魅力の競い合い
  - ・180の観光まちづくりの活性化
  - ・幅の広い江戸文化 TOKUGAWA・JAPAN の発信

#### 「彦根城の役割」

- ・そのためのネットワークの起点・プラットフォーム形成



#### 「彦根城の価値」 その1 臨戦態勢の解除

【江戸時代の城は、どのように変化したのか】



- ・城は、戦国時代を通じて急激に戦備能力を向上させた。本来、別々に存在していた居館（御殿）を城の中央に引き寄せ、これを一つの玉座によって制御した。
- ・（戦備の日常化・臨戦態勢の強化）
- ・江戸時代になれば、城の中心から居館（御殿）を離脱させた。居館（御殿）の住居機能・政治機能の強化を目指す。